

ミニットの花が咲く頃

Mintoon  
Sakura  
Korokoro  
Si



登場人物は全員18歳以上であり、法的に成人です。

この本は完全にフィクションです！あくまで娯楽のためのものであり、実際のアドバイスや教育的な料として誤解しないでください。  
そのように考える人は、そもそもこれを読むには明らかに若すぎます。





まだ夕飯の買い出し  
が残ってるか…。

でも今日は絶対、手の込んだ料理なんて作らないぞ。



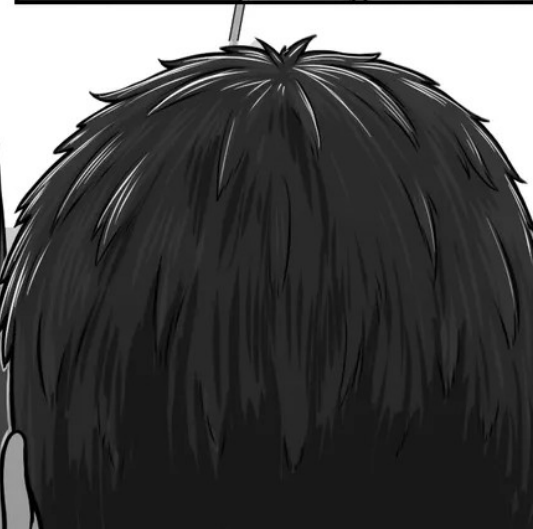
ふ  
今日はなんであんなに仕事多かつたんだ？  
しかも部長まで機嫌悪いし。



おにいさん、  
この子たちのひとり  
を引き取っていただけ  
ませんか？



すみません。





いいえ、違いますよ。  
長い間、放っておかれていただけです。  
でも、まだちゃんと命は残っています。

優しく、大事に育ててあげれば、きっとまたきれいに咲きますよ。



「この子をどうぞ。」

「この子は、ちよつとつらい人生を送ってきたから、最初はとげとげしいかもしれませんが、でも、きっとあなたも、「この子を好きになりますよ。」



私もできる限りのことは  
しましたが……

「この子たちに本当に必要なものを、与えてあげることにはできなかったんです。だから、できるだけけふさわしい人を探しているんです。」

あなたのような方をね。



しおれた花か……

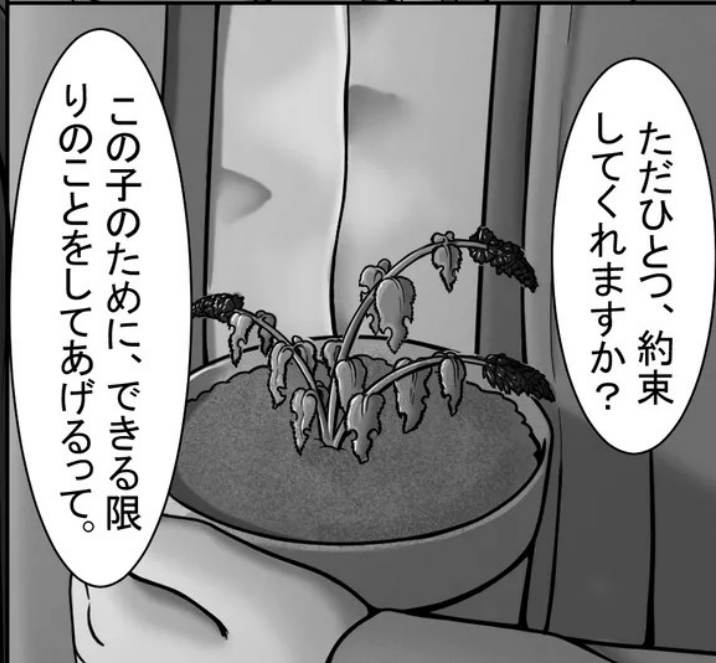


え、えつと……

ありがとうございます。

お代は——

お金はいりません。



ただひとつ、約束してくれますか？

「この子のために、できる限りのことをしてあげると。」





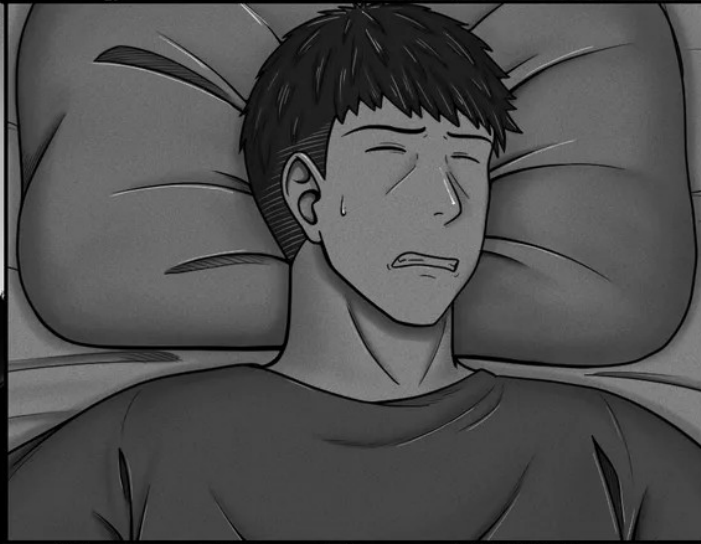
ゴキゴキ



ガウッ

ジュウウウ

ビュッ



ガッ

ガッ



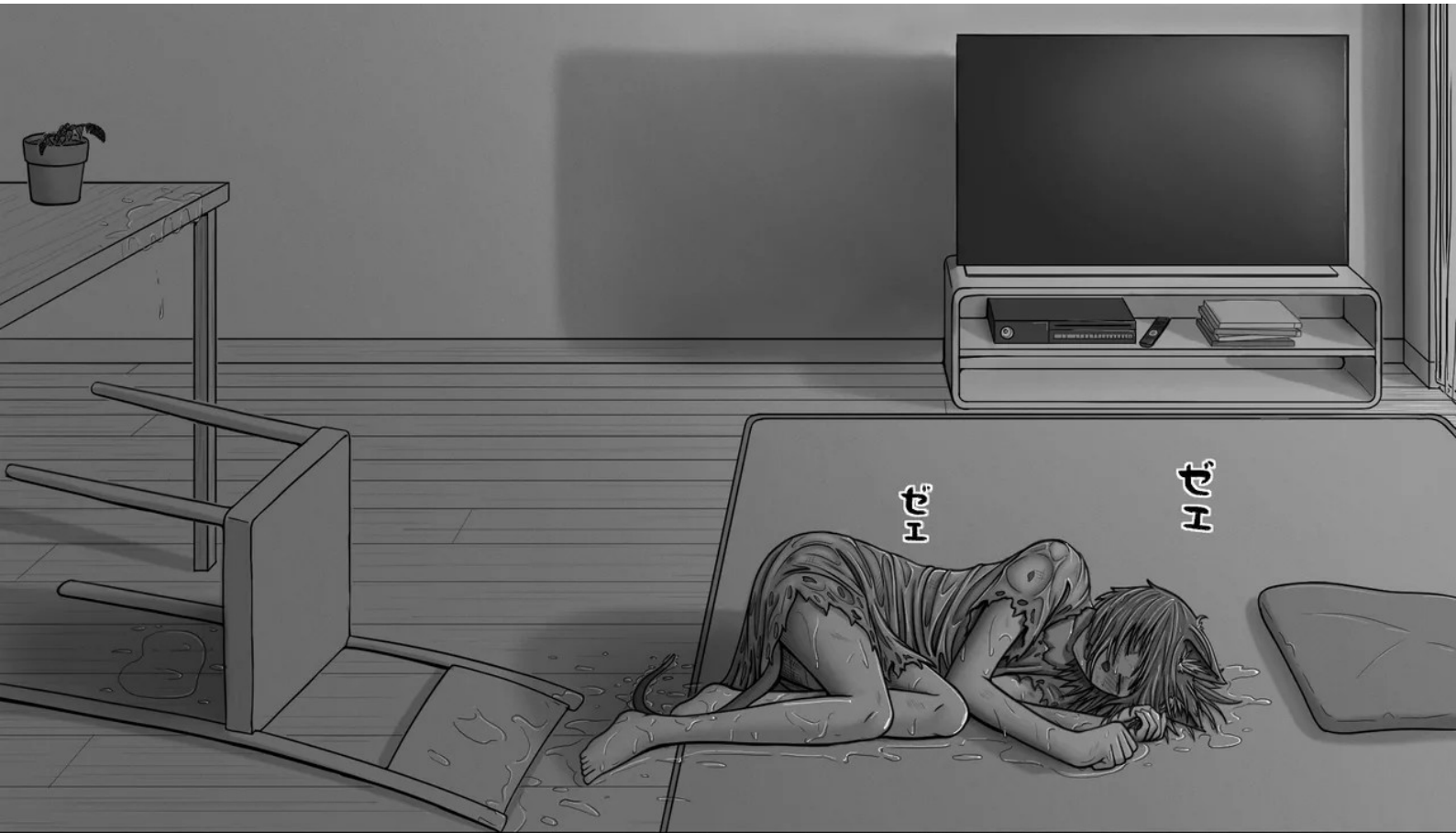
ボガッ

グエイ



ザー







ゆっくり休んでくれよ。



…見てしまっ  
てごめん。

思ったより、  
やせ細ってはい  
ないな……。



一体、どこか  
ら来たんだ？

疑問ばかり  
だけど、

それに、本当に夢で  
見た子なのか……？



明日には、少しでも良  
なってるといいけど……。



今は、彼女の体  
調が最優先だ。

答えを探すの  
は、後でいい。



俺も少し休もう。  
明日になれば、何かわ  
かるかもしれない。



...え?  
いない!?



だから布団からベッドに  
変えたんだっ...

背中が...!

ふああ



ハア

ハア



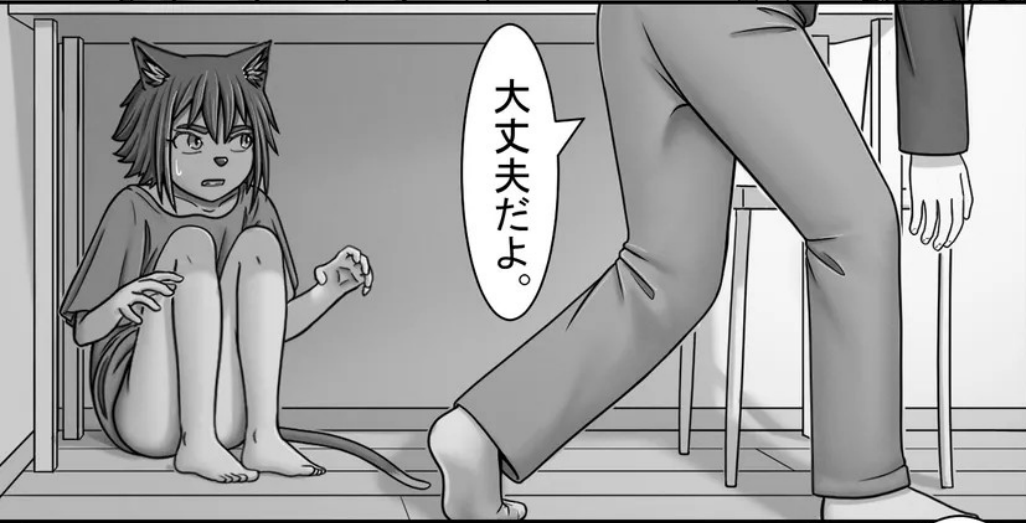
玄関もベランダのドア  
も鍵かけたはずだし...  
外には出られないはず  
だけど...

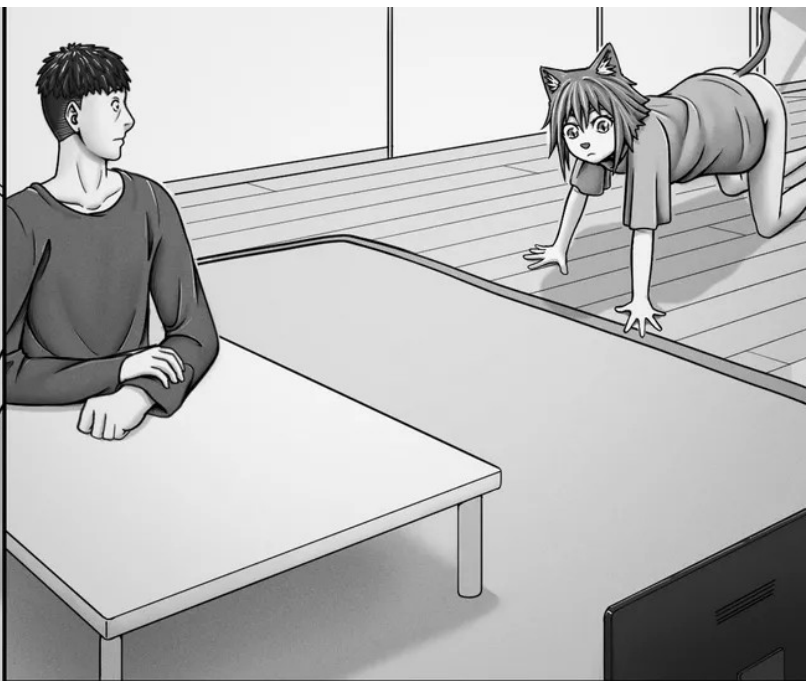
どこ行っ  
たんだ?



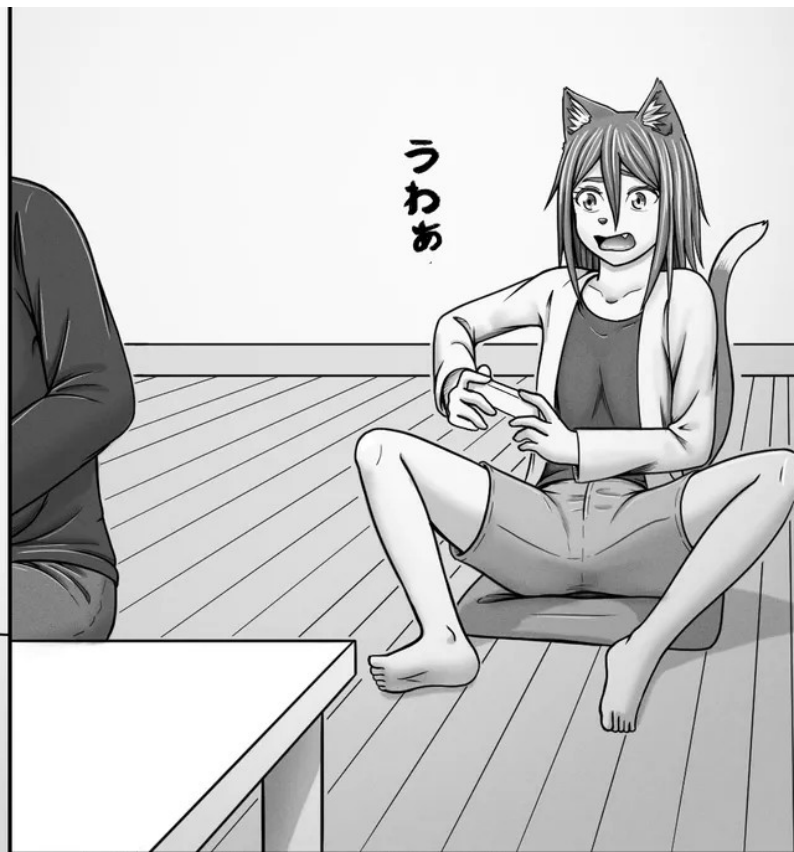
なあ、出て  
きてくれ!

どこにい  
るんだ?











健!

おかえりー!!



ただいまー!!

タタタッ



ニヤ、気をつけろ。  
食べ物、つぶしちゃうぞ。



ちがうもん!

食べものは絶対に危  
ないことしないもん!!



さかな

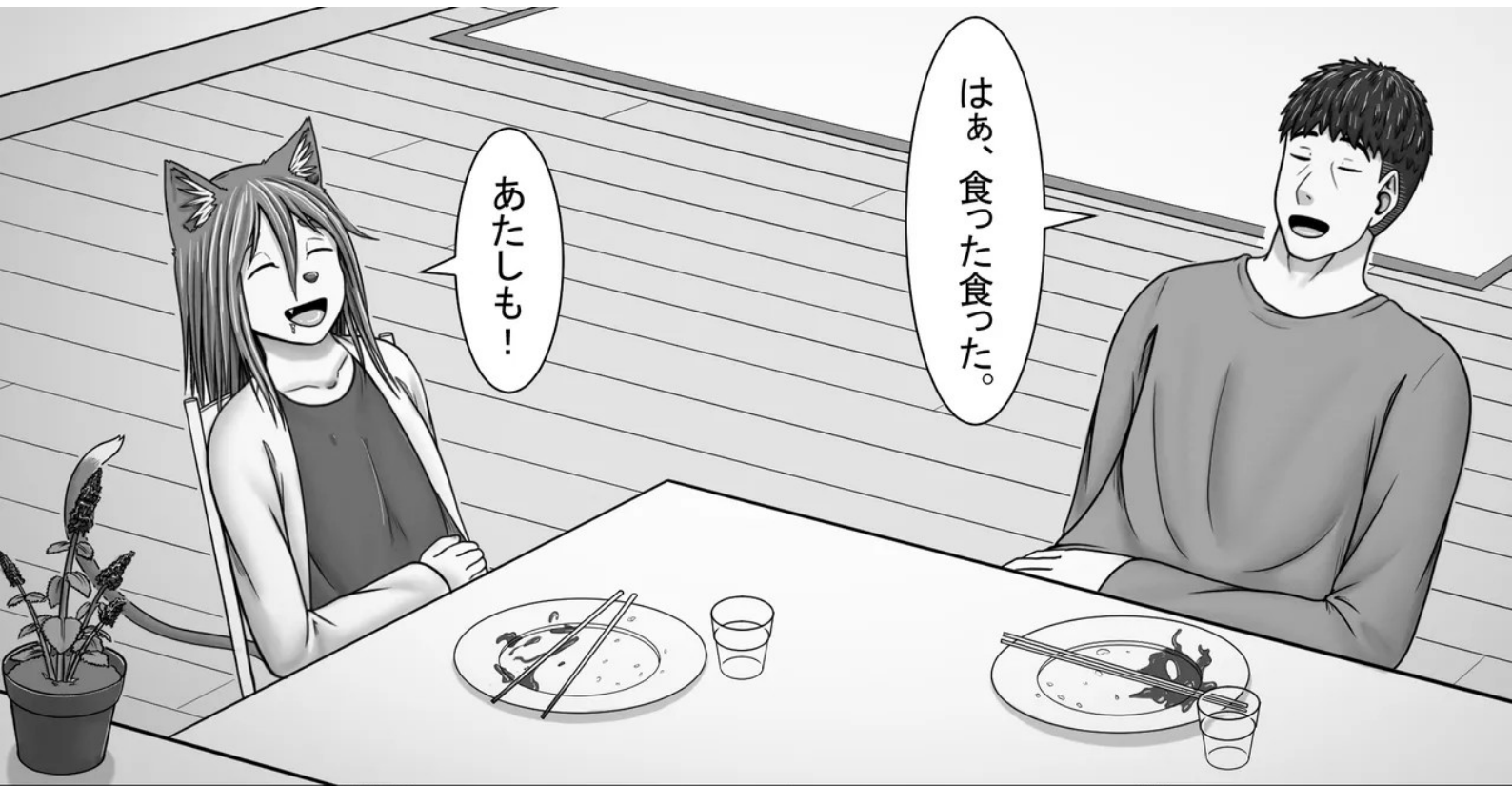
おいしいさかな

さかな



晩ごはん  
なに?

鯛...いや、  
魚だよ。



はあ、食った食った。

あたしも！



ほら、プレゼントだ。

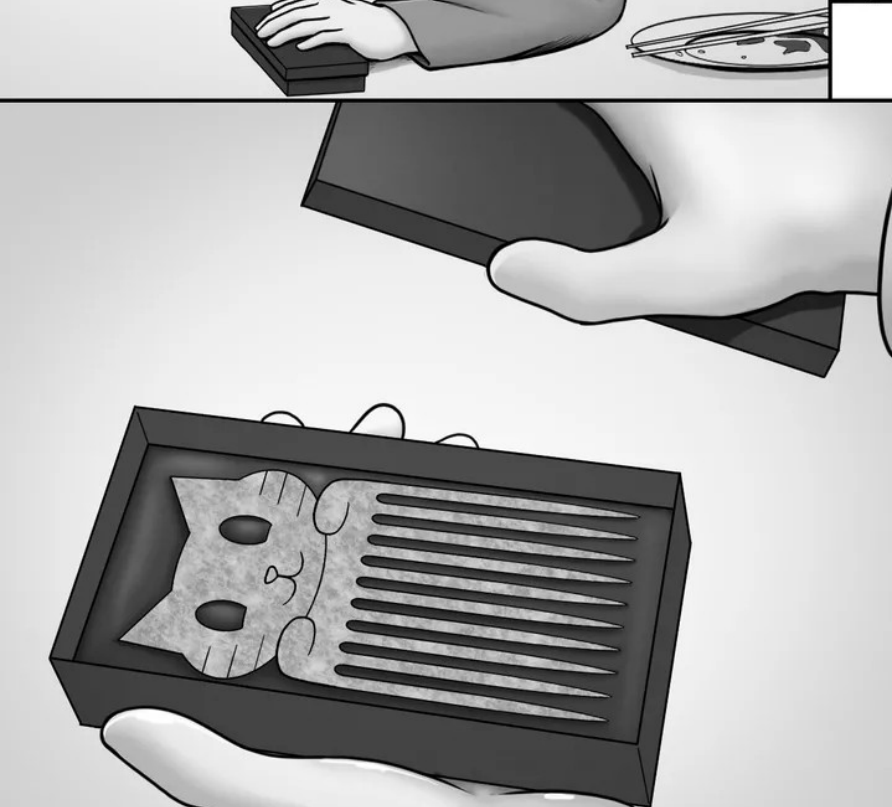
今日は特別だからだぞ。

スツ



これ、毎日食べたい！

俺を破産させる気か？



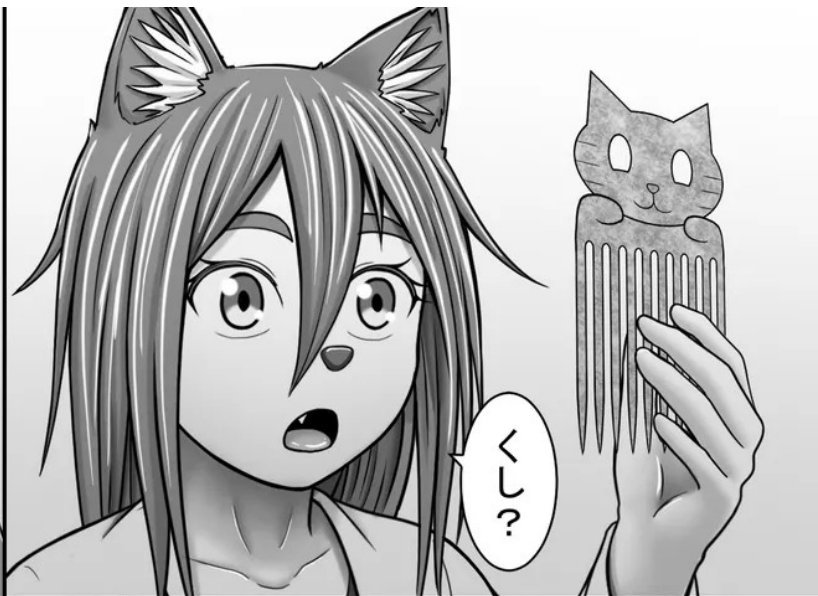
プレゼント？

開けていい？  
開けるね！



君にぴったり  
だと思ってさ。

前に、髪をとかすものが  
ないって文句言ってたろ？



くし？



一年記念日、  
おめでとー、ニヤ。

きねんび？



ほ言った。  
ありがとう！

これ、すごく  
かわいい！



うん。ちょうど一年前、  
君がここに來たんだ。



あの日から、俺の生活はすご  
くにぎやかで、楽しくなった。

だから、感謝の気持ちを込め  
て、お祝いしたかったんだ。



そう思わないか？



健、だいすき！

泣いてるのか？  
ニヤーやめろっ——え？



こんなに幸せ、初めてだよ…

ごはんも、ふかふかのベッドも、安心できる家も…

ぜんぶ健がくれたのに…  
ほんとは、あたしがプレゼントあげなきゃなのに。

そんなこと言うなよ。  
ニヤだって、たくさんくれてる。  
家事も、料理も、ずっとそばにいてくれる。

この部屋は俺のものだけど—お前がいるから、家になったんだ。



お前がいなきゃ、ただの空っぽの場所だよ。

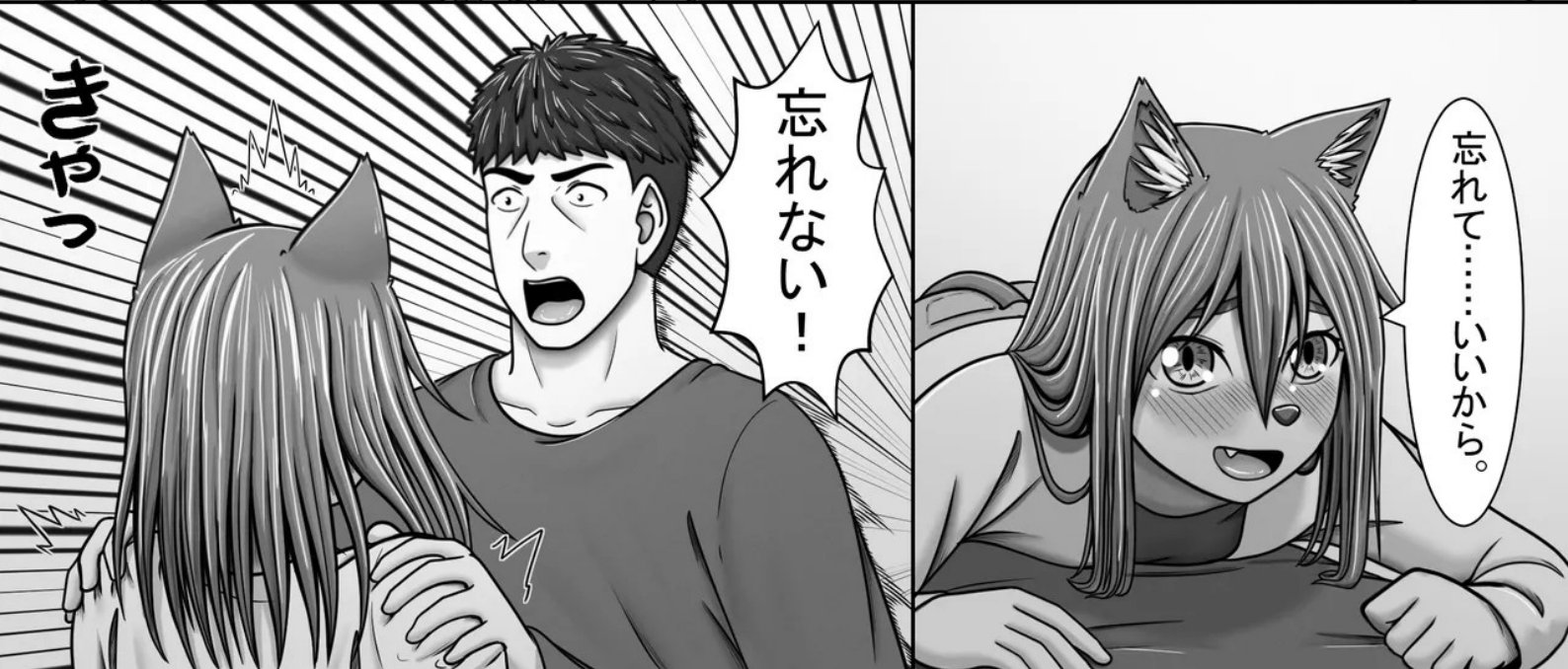


チュムッ



健が言ったこと…  
うれしくて、がまんでき  
なかつた。

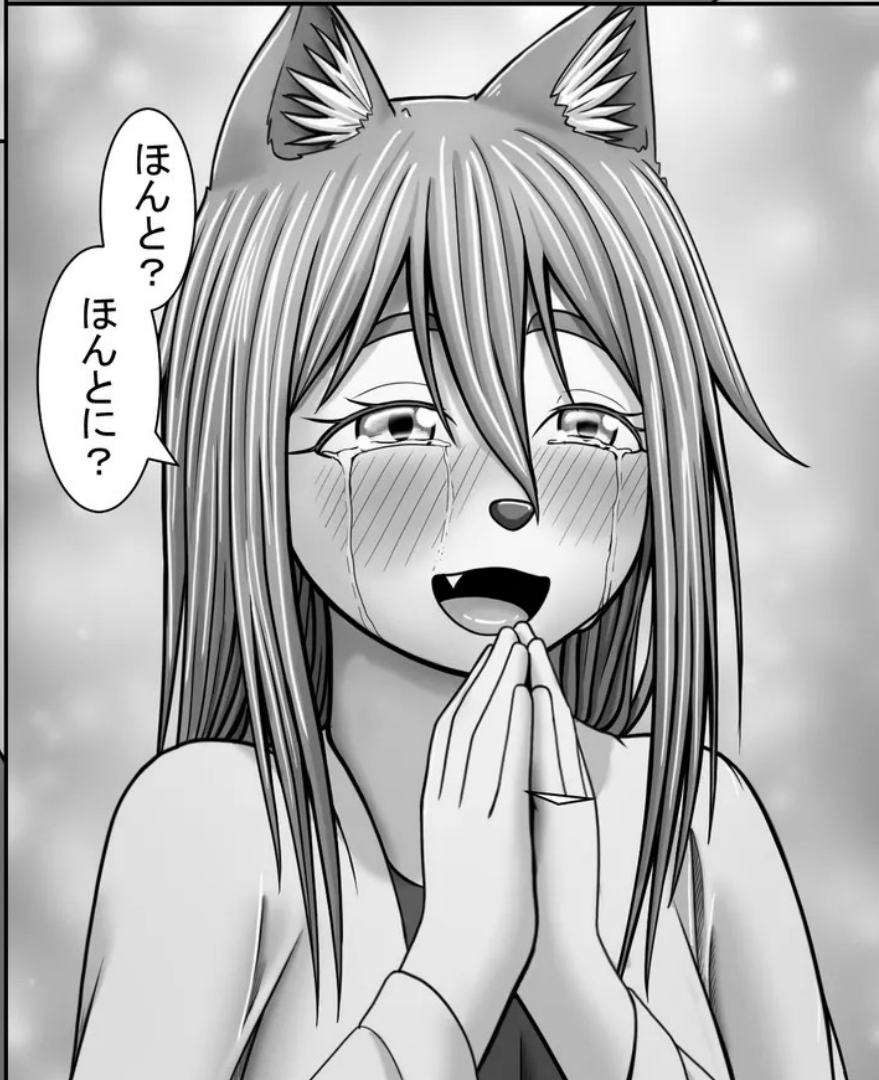
ニヤ……？



まじっ

忘れない！

忘れて……いいから。









じゅるっ



くすくすっ



んちゅっ



ニヤ...



健...

お願い、私のこと  
悪く思わないで。  
でも、キスのこと...  
忘れられないの！

ハア

もじゅ...  
ほしゅの..

ハア



ガバツ

チカッ



んちゅっ



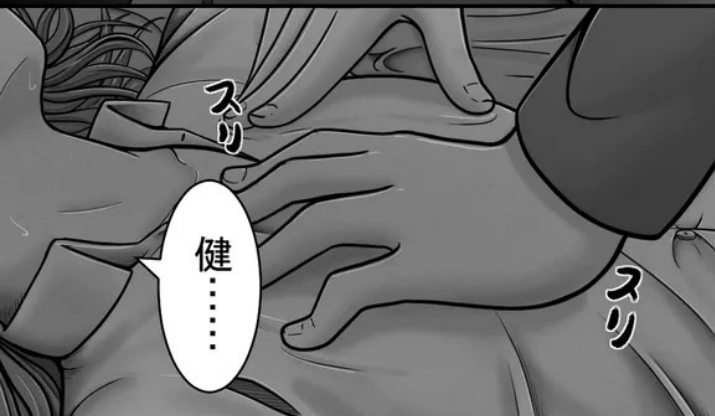
…我慢なんてし  
なかったのに。

もし気づいてた  
ら、俺だって…



わかってるよ、  
ニヤの気持ち。

こんなことでニヤを悪く  
思うわけないだろ！



健……



ああ

ぺっ

スリ



その手……

もっと触れて……

ああ

ああ

スリ

スリ

スリ



ああ

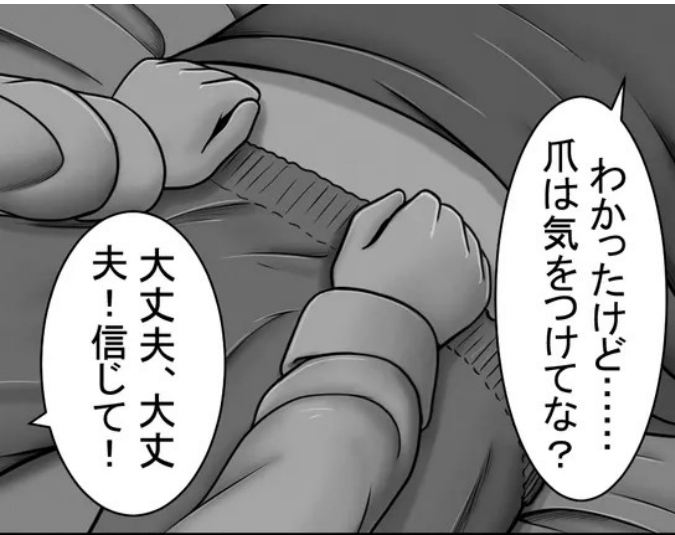
ぺっ

スリ

あたし……脚のあいだ  
、熱くなってるの……







大丈夫、大丈夫！  
信じて！

わかったけど……  
爪は気をつけてな？



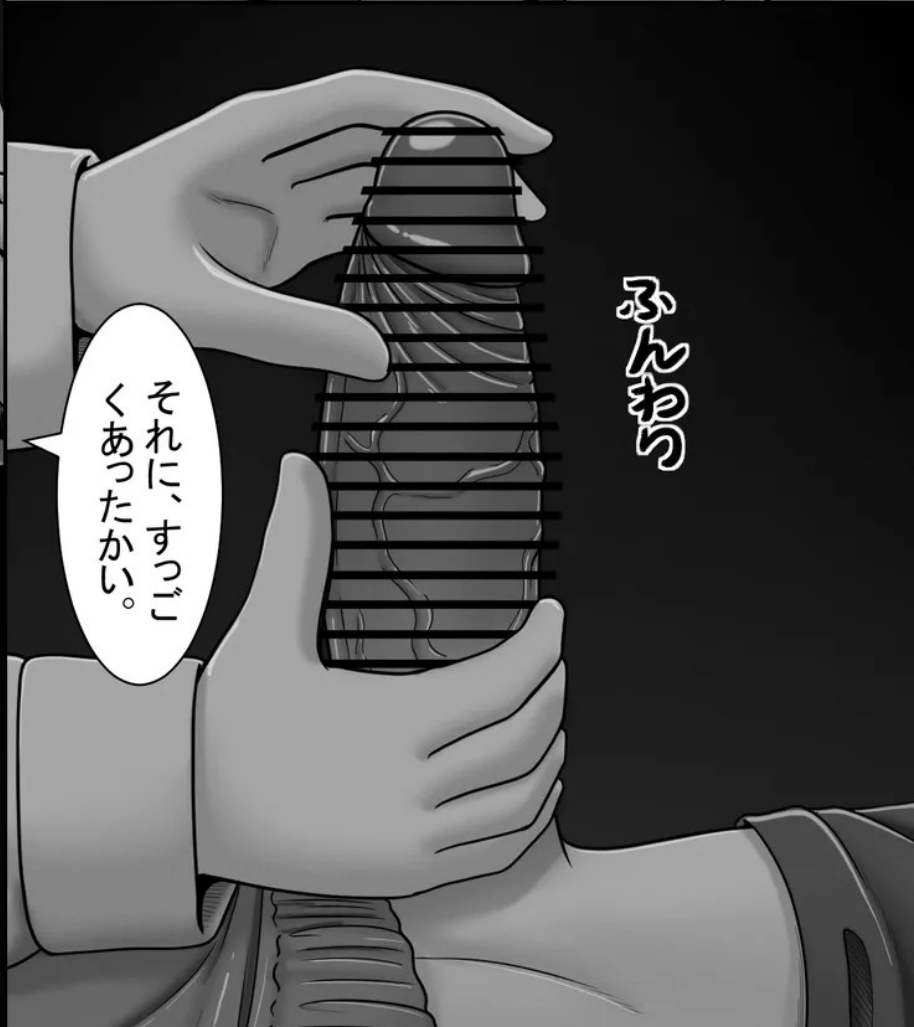
もう、任せてよ！



わあ……。

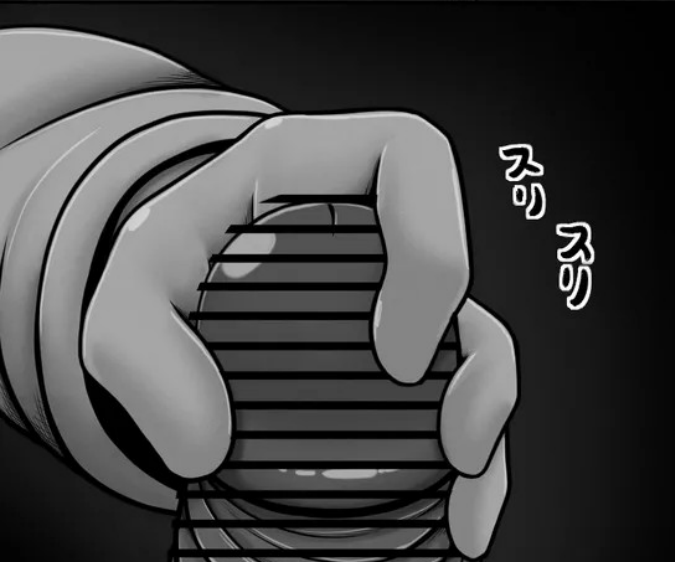
なんか、  
変な感じ。

ぴよん



それに、すっこく  
あったかい。

ふんわり



スッ  
スッ



肌、すっごく  
柔らかい……。

スリ  
スリ



なんでもっと早く触れ  
なかつたんだろう……。

んんん

スリ

スリ



しかも、すっ  
ごく優しい……。

もん



ぺろっ



ん？



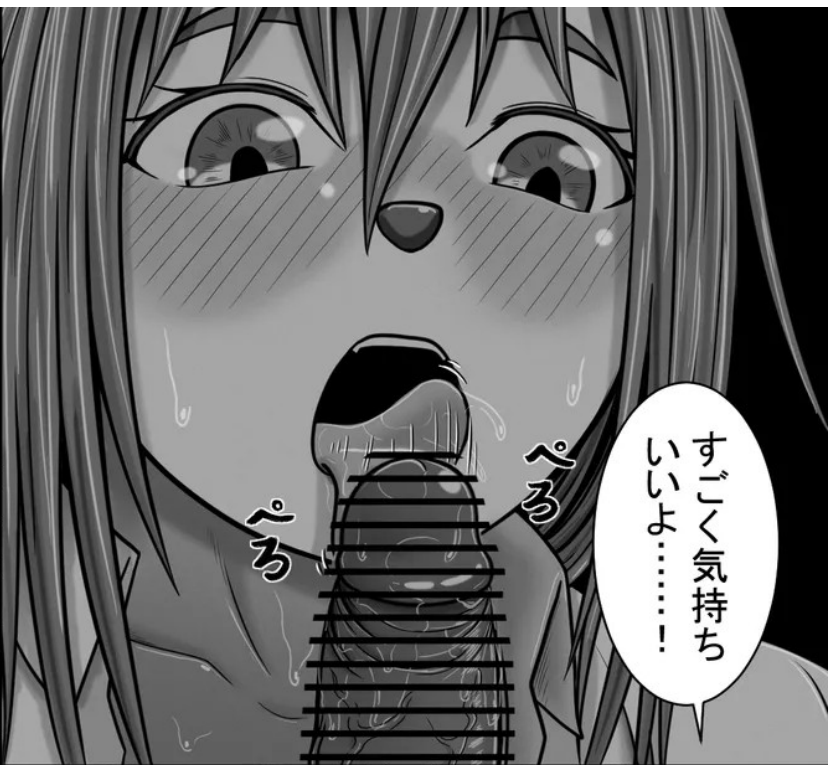
猫の舌っ……！！





俺、もういき  
そうだ……!!

はあ



すごく気持ち  
いいよ……!!

ぺろ  
ぺろ



あ  
あ  
あ

おお  
おお

ト  
ト

ト  
ト



ぺろ  
ぺろ



えへへへ



おっおっおっ

ケンにおい……いっぱい……。

あああ……



に、ニヤ？  
大丈夫か？



やだあゝ！  
いいにおいな  
のゝゝ！

このままでもいい！



ほら、これ  
で体拭いて。

え、えっと……。



だいじょーぶ  
だよお……



……なんなんだ？  
キャットニップを嗅  
いだときもこんな感じだったけど、  
全部処分したはずだし……

これって、発情  
期ってことか？



ケンのケチー……！

ダメだって。  
ベッドが汚れるだろ？

ふぎ



もっと欲しい！

がばっ



ほら、これで少しはマシだろ？

やだ。



どさっ



むぎゅっ



はあ

はあ

あの変なおいのクリー  
ム、もっとちようだい！

燃えてる  
ところに……



赤ちゃんを作るときだけ固くなるんだ。

普段はこんなもんだよ。



なんでフニヤフニヤしてるの？

え？



わかった！

パンツ

その、君のそのに……入れないと

うわっ！？



えっと、それは……

赤ちゃん？

どうやって？



うん、硬くならな  
いと無理だよ……

チヨロ  
チヨロ

ポタ



え？  
入らない？



ニヤーま、待って、それはダメー!!

ぬちゅる



じゃあ、中に押し込めばいいんだよね?

は!?



ぬちゅる

ぬちゅる

ぬちゅる



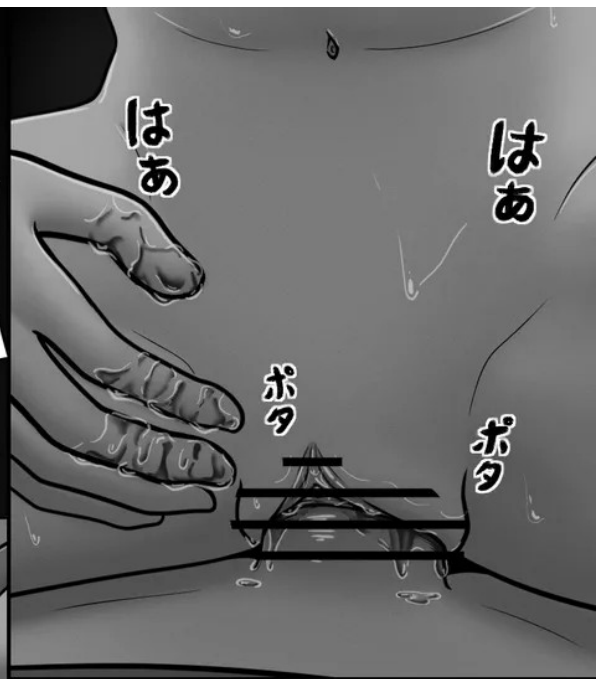
んぐ

ぬちゅる



ちよつと痛いけど...  
もう入ったよ。

ニヤ!  
な、何してるんだ!?!  
痛くないのか!?!



はあ  
はあ

はあ  
はあ

ポタ  
ポタ

ポタ  
ポタ



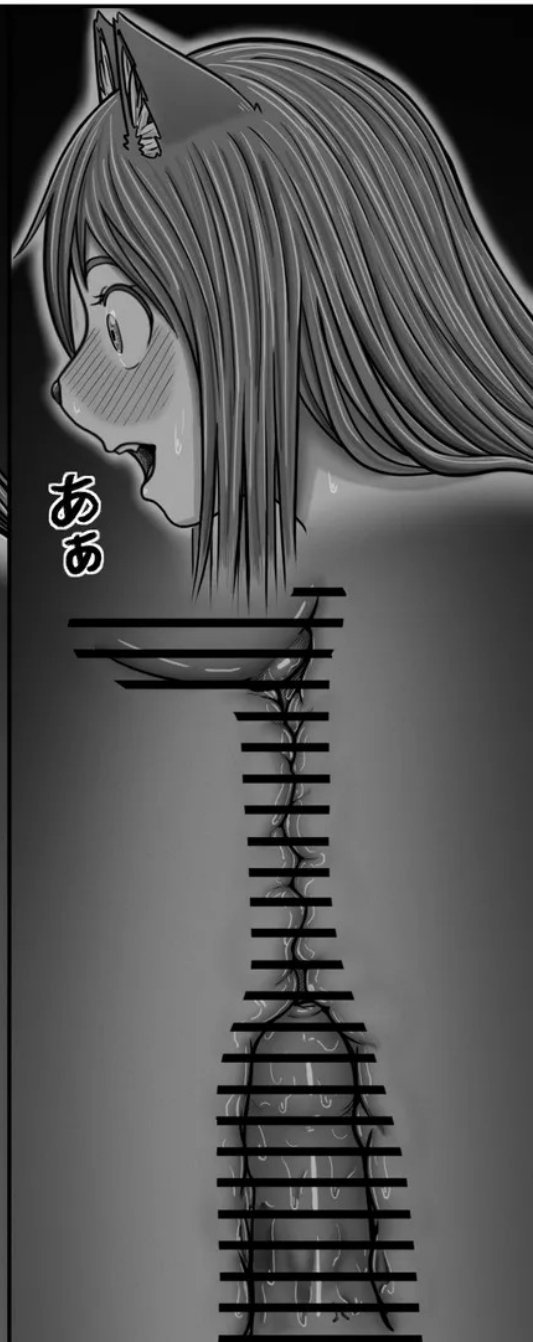
ふああ  
あ

ぐ  
ぐ  
ぐ



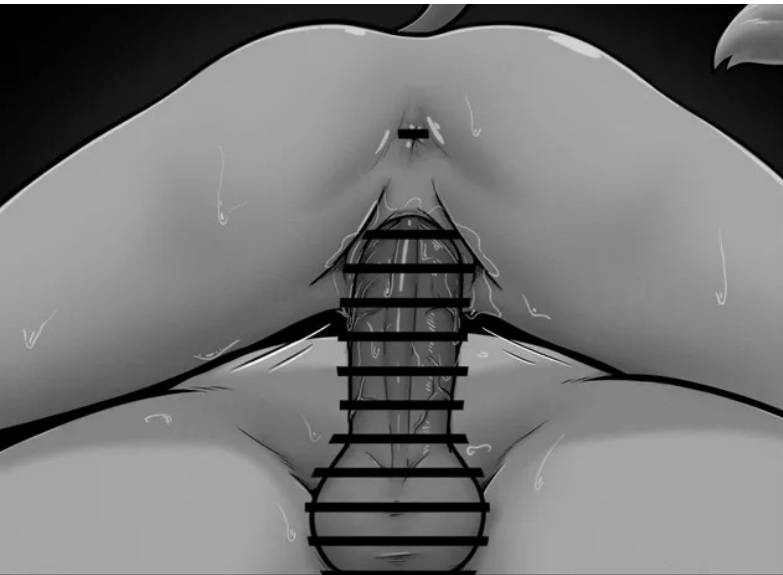
ぷ  
う

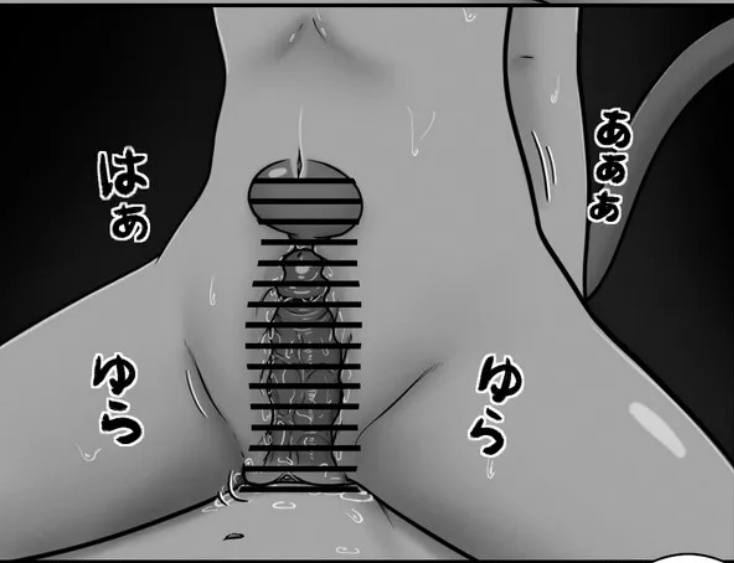
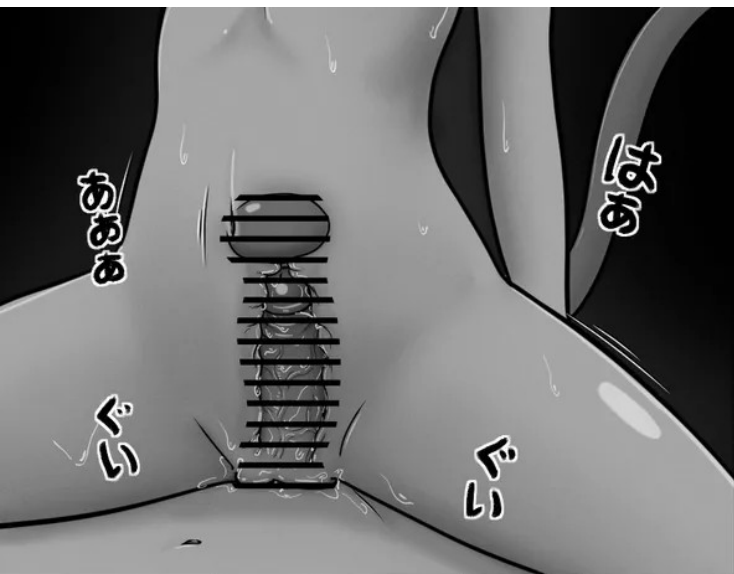
むく  
むく



ああ  
あ







健。なんか  
、したい。

うん。いいよ。  
。どっぞ。

あつ、もっと奥。  
赤ちゃん、す  
ごく楽しい！



もっと、見せて！  
お願い！

はあ

ブボ

はあ

ふう

ヌチュ

ブボ

ヌチュ



もっと、気持ちよくして...!

ヌチュ

パンツ

ヌチュ

はあ

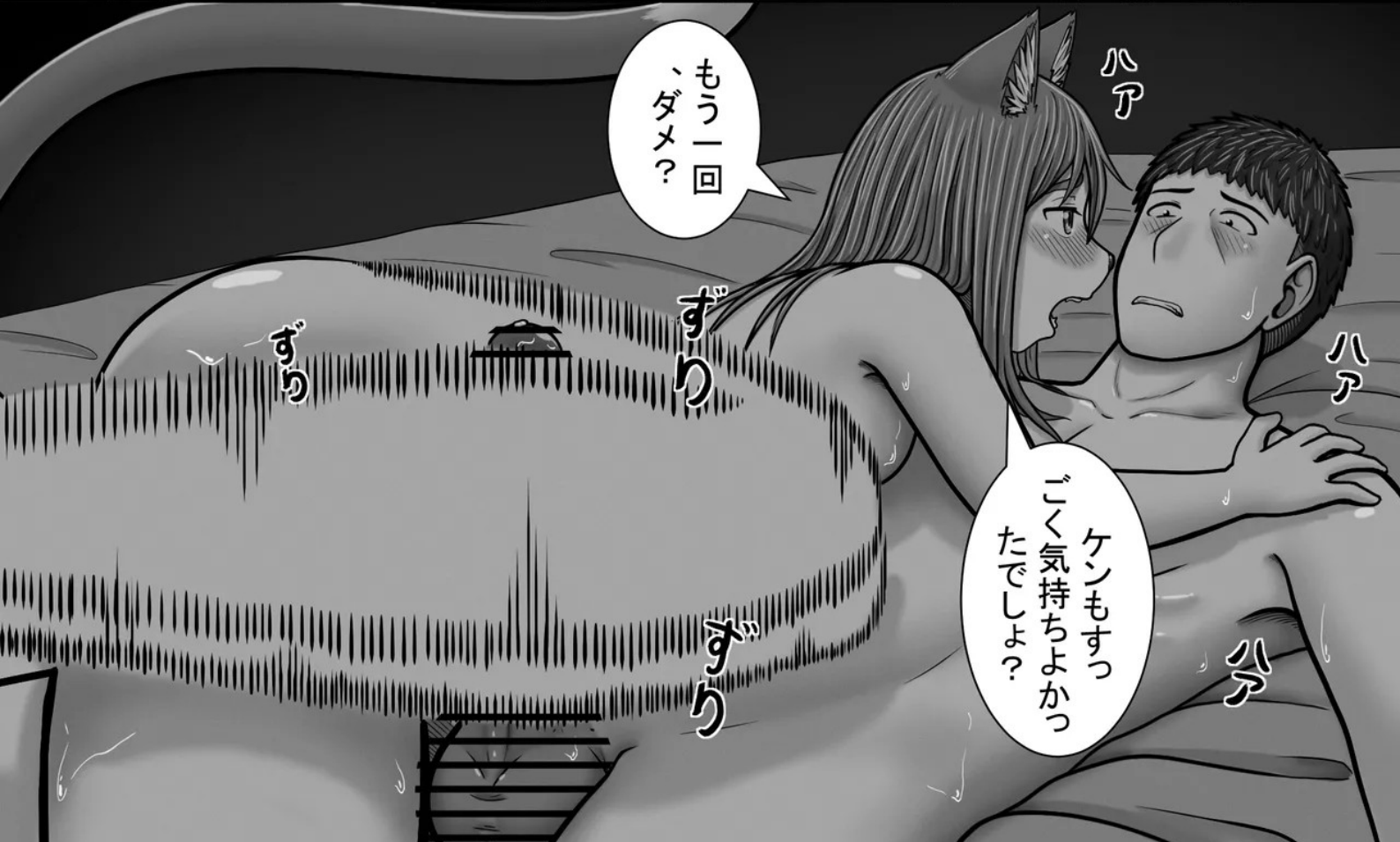
ああ

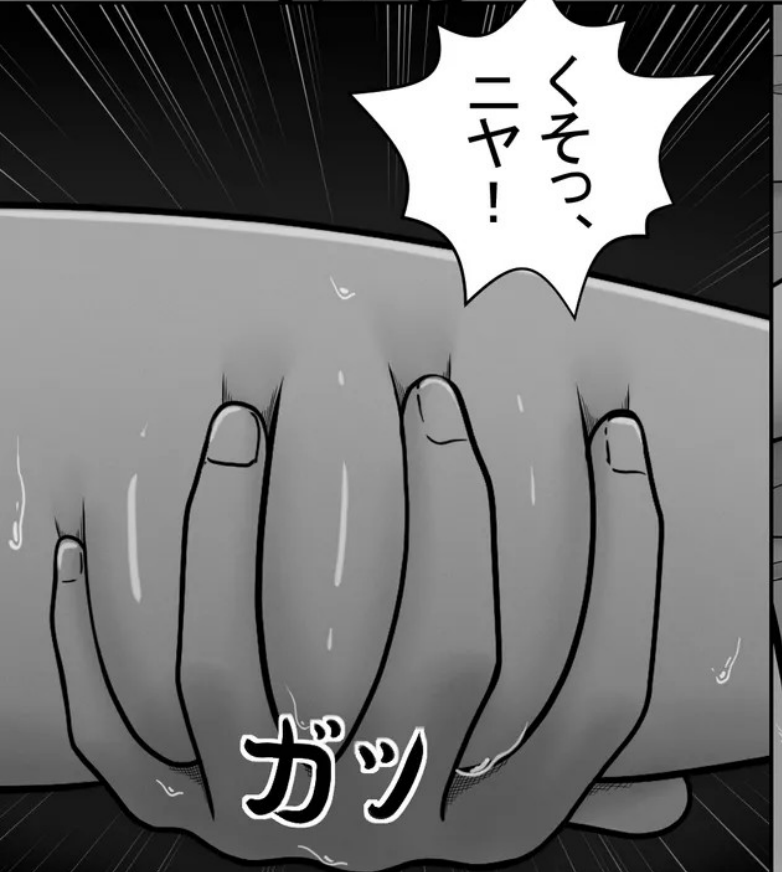
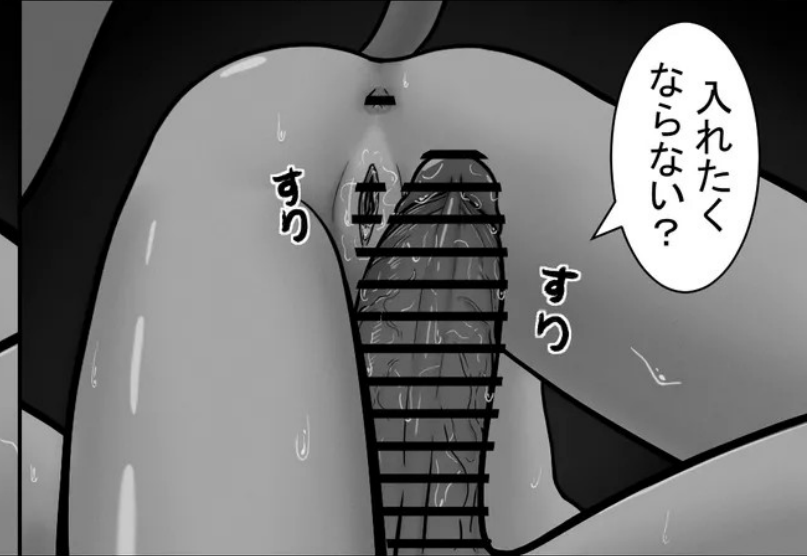
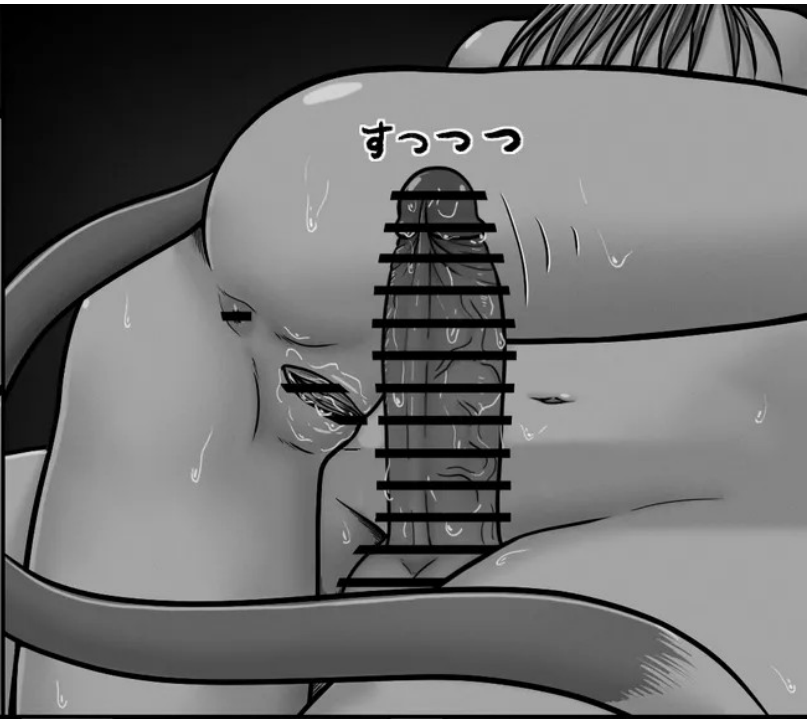
ああ

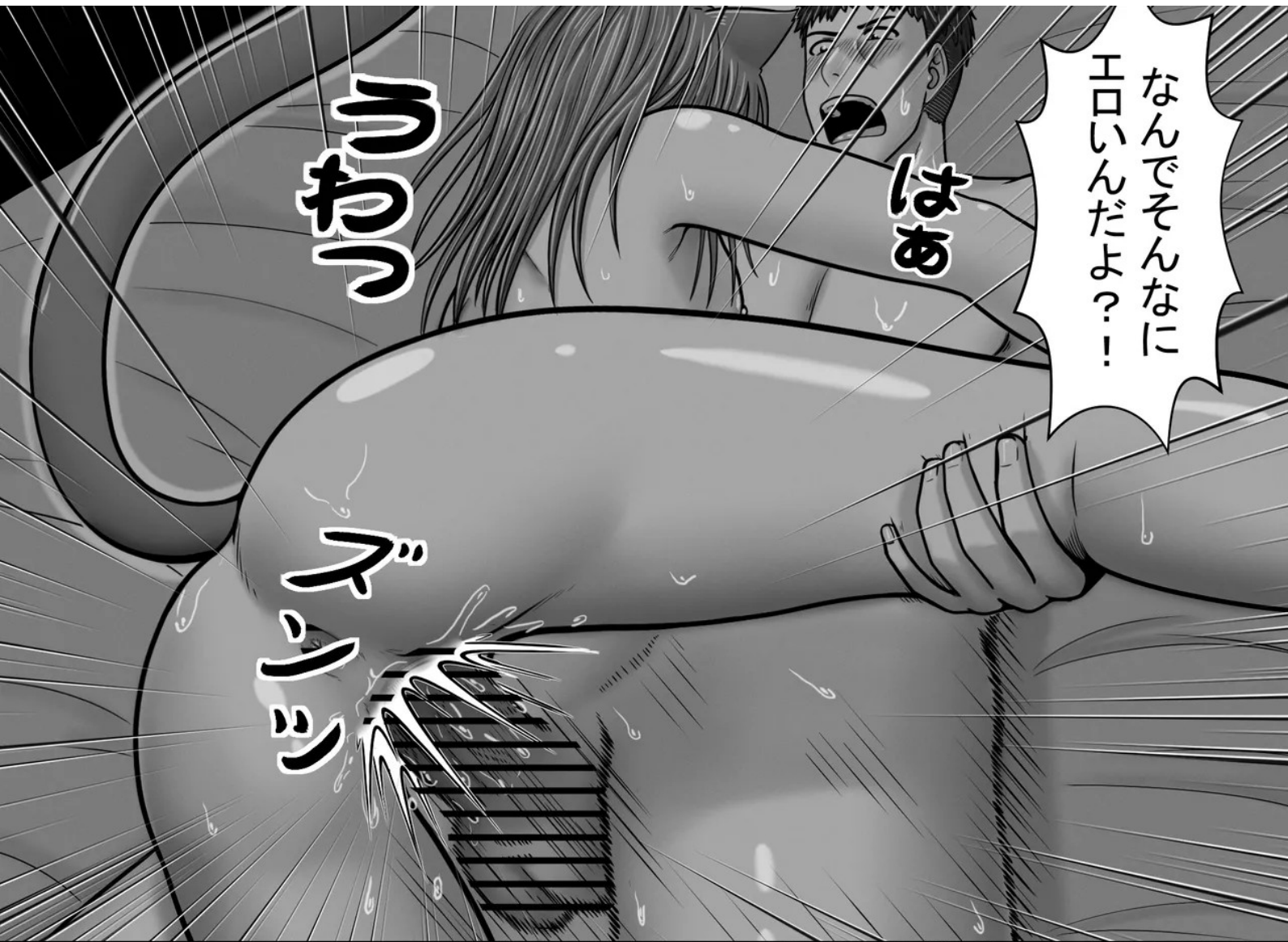
パンツ









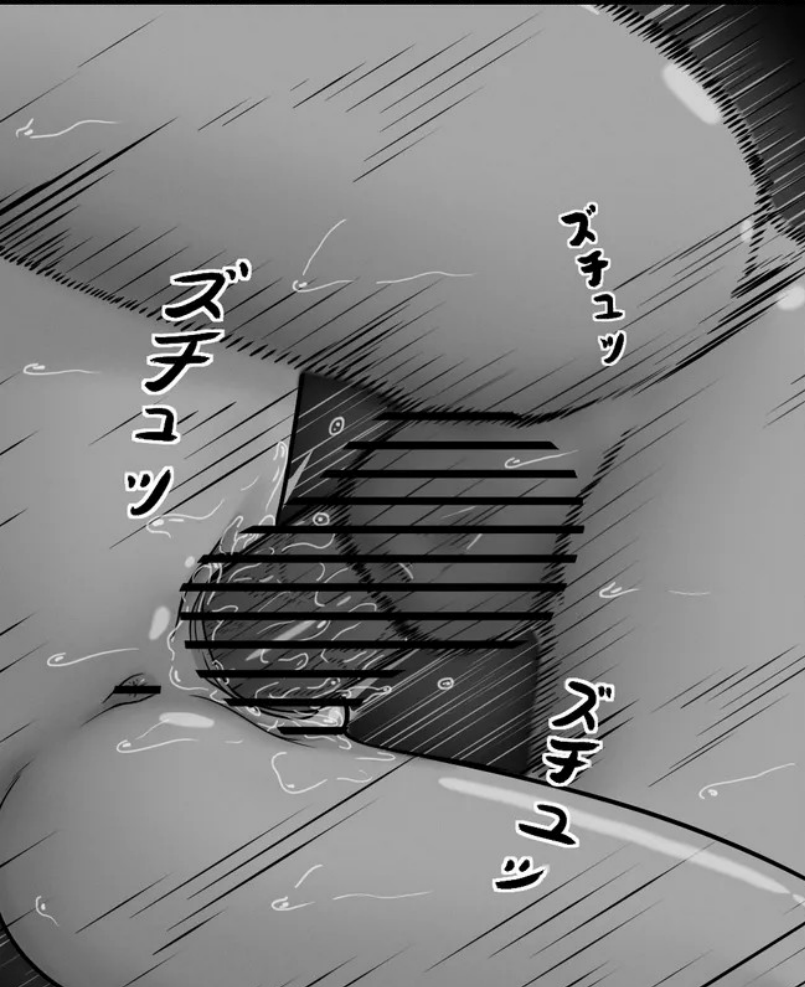


なんでそんなになんてエロいんだよ?!

はあ

びしょ

びしょ



ズチュツ

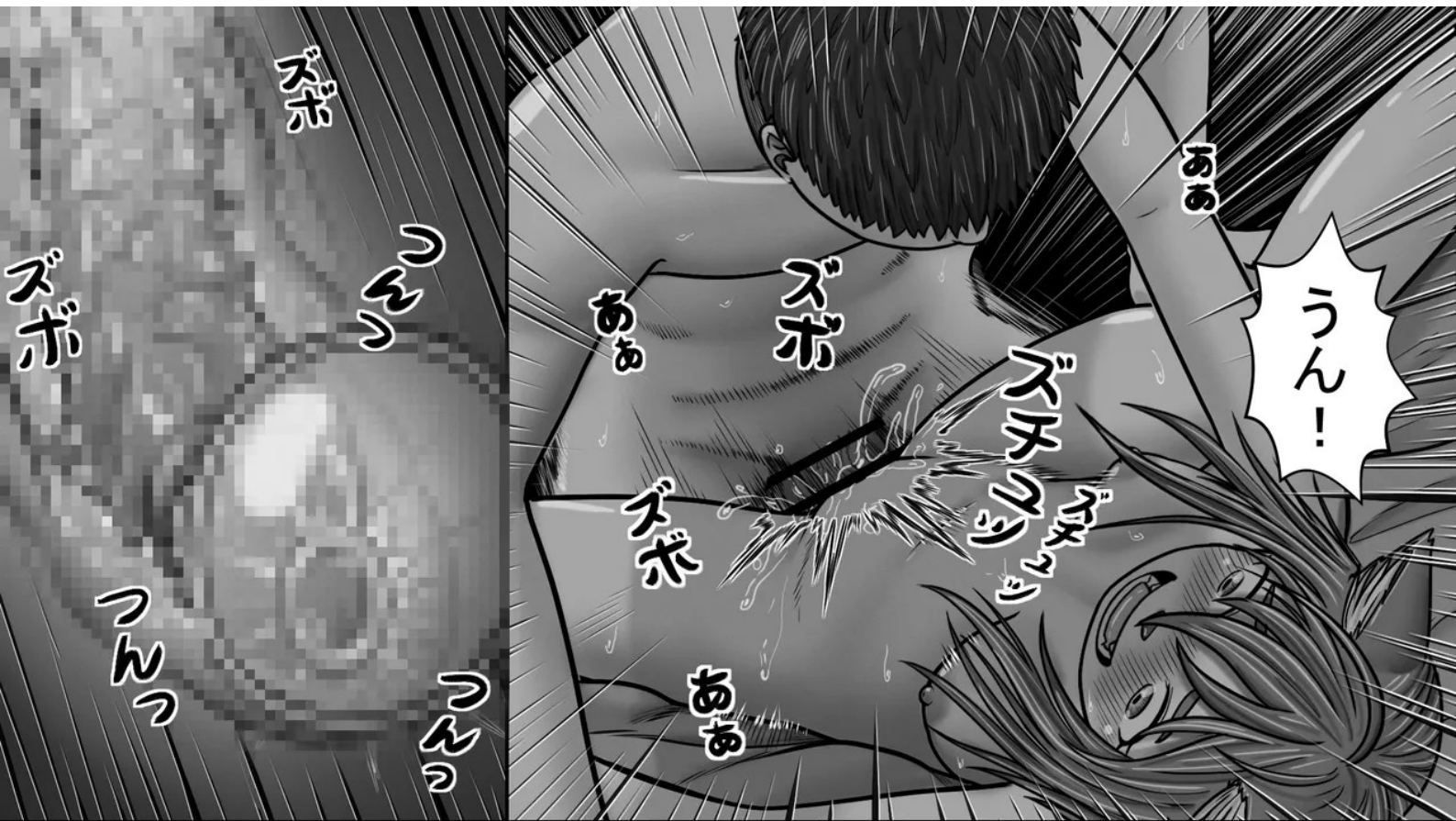
ズチュツ

ドム



めも

入っちゃった!



うん!

あゝ

ズメ  
ズメ  
ズメ

ズボ

あゝ

ズボ

あゝ

ズボ

つん  
つん

ズボ

つん  
つん



あゝ

もっと速くして!

あゝ  
あゝ

あゝ  
あゝ

ズメ  
ズメ  
ズメ

ズボ

あゝ

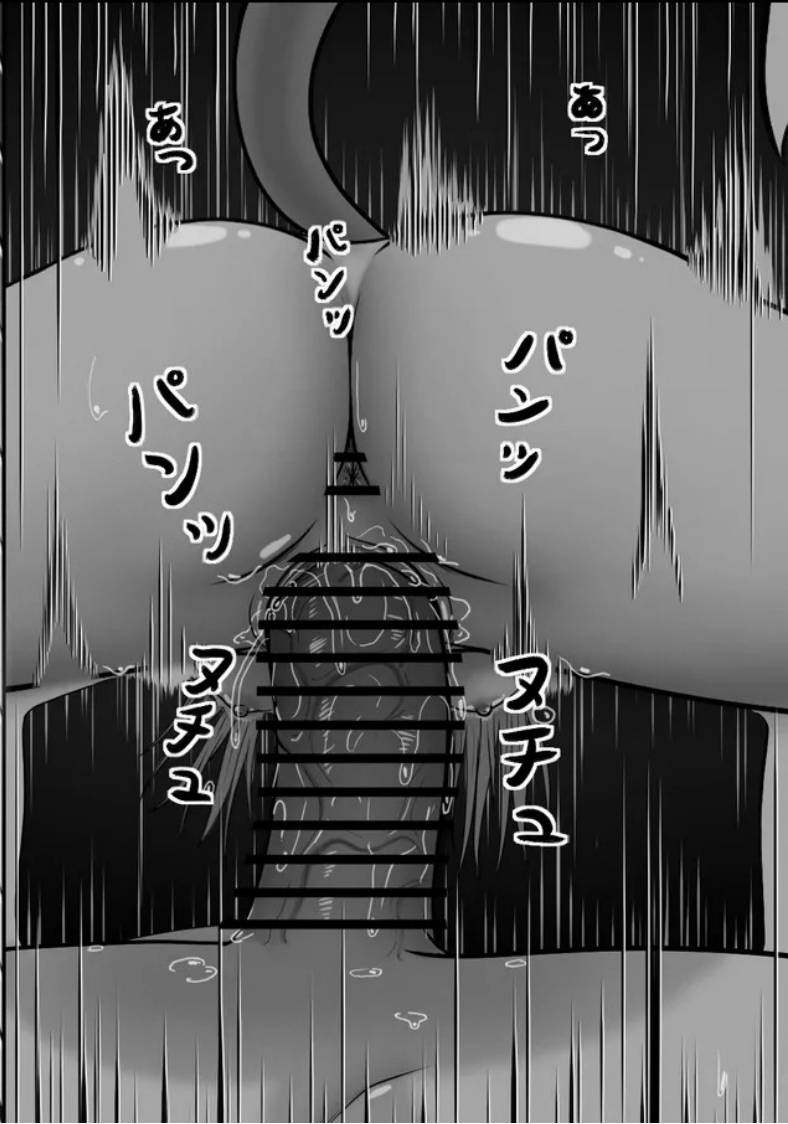
ヌチュ  
ヌチュ  
ヌチュ

ズチュ  
ズチュ  
ズチュ

ズボ



今度は私の番!





感じるよー!

はあ

あう

ケン!

あう



ドプツ

また来る!

あうあう



はあ

パンツ

ズチュ

ズチュ

パンツ

あう

あう

はあ

あう



んぐっ

ドブツ

ドク

ドク

んぐあああ~

ドク





皆さん、こんにちは。

読んでいただきありがとうございます。

楽しんでいただけたなら嬉しいです。

もし応援していただける場合は、

Patreon または Fanbox にてご支援いただけます。



ご支援いただいた方には、以下  
のような特典をご用意しています：

すべてのコンテンツへの先行アクセス

次回作に関する最新情報やチラ見せ

月に一度の限定ショートストーリー

各作品ごとのボーナスページ

この本だけでも、なんと14ページのボーナス付きです！  
背景にも一部の内容が映っていますので、ぜひ探して  
みてくださいね。